

通指導員さんから話を伺い、みんなが自分たちのことを思って活動していることを知ることができた。

② 生き方に関わる学習 3年「大発見！地域で働く人たちの仕事」

3年生になって、初めて学ぶ社会科では、働く人の仕事について学習した。地域にあるスーパーに見学に出かけ、働く人たちが、自分たちに安心・安全な商品をお届けするためにいろいろな工夫をしていることに気づくことができた。

地域でバラを作っている農家の方のハウスを見学した際には、きれいなバラを咲かすために、ハウス内の温度に一番気を使っていることを知ることができた。

どの仕事もお客さんを喜ばすためにさまざまな工夫をしていることに気づくことができた。

③ 福祉に関わる学習 5年「めざせ！心のバリアフリー

～年を取るということは～」

国語科の教材文を読んで、「お年寄りは弱い存在」と感じていた子どもたち。学校に隣接する地域福祉センターの利用者の方との交流を通して、「お年寄りは元気！」と意識が変わった。特殊な器具を装着した「お年寄り体験」や出前授業「認知症サポーター養成講座」、書籍などの調べ学習から、「弱い存在」と感じたのは老化による体力や筋力の低下であることを知り、同時に「センターのお年寄りたちは、どうして元気なのか」と疑問をもった。

これまでの学習を生かすために、校区内やその近郊にある福祉事業所を訪問した。訪問を通して、お年寄りの元気のもと「たくさんの人と話すこと」「楽しく過ごしたいという気持ち」「職員の方の笑顔」であると気づき、これからもお年寄りが困っていたら助け、優しく接してあげたいと思うようになった。



① の写真（大通りをたんけんしたよ）



② の写真（バラ農家鈴木さんのひみつ）



③ の写真（お年寄りを楽しませよう）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

豊橋市は、市立小中学校全校が、ユネスコスクールとして加盟している。そして、市教委の指導のもと、ユネスコスクールとしてＥＳＤにかかわる活動を位置づけている。また、校長が示す学校経営の基本方針にも位置づけている。

「持続可能な学校・地域を構築する『ＥＳＤ』の理念を核にして、『授業で子どもを鍛錬』『安全、安心な教育環境』『地域連携と開かれた学校運営』を柱にして、学校・学年・学級経営を推進する。」

よって、指導方法の工夫改善は、教育課程の見直しおよび学校職員の学校運営の改善として位置づけ、努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

職員組織に「ＥＳＤ主任」を位置づけることが豊橋市全体の取り決めとなっており、本校でもＥＳＤ主任を中心に各学年で推進していくように取り組みを進めている。また、校内では委員会活動として、児童がアルミ缶やペットボトル回収、募金活動などを中心にボランティア活動を通してＥＳＤ活動に取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

平成２９年度の学校評価の結果を見ると本校の児童は、「読書や学習に対する意欲」の評価が低いことがわかった。今後、問題解決的な学習を柱に教科の学習や総合的な学習の時間などの取り組みを通して、子どもたちの関心・意欲や自己肯定感を高めていくこととしている。また、成果として、ＥＳＤの視点で学校評価を見直し、改善する方向性をもち取り組んでいくことができた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校のホームページやブログ、学校だより「遊歩道」を利用して、本校のESD活動としての取り組みについては発信している。内容としては、活動の様子や活動を通しての子どもの考えなどを紹介している。その他、学校新聞等で必要に応じて発信するようにしている。平成29年度は、「ユネスコスクール豊橋大会」で本校の活動についてポスターを展示した。これらの活動を通して、本校がESDを中心として特色ある学校をつくりあげていることを地域に知っていただくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本校では、年間計画に地域福祉センターや福祉協議会による車いすや高齢者疑似体験活動や講話、福祉施設などとの交流や地域の店舗などの協力による職場体験活動を位置づけて福祉学習や生き方学習に取り組んでいる。今後は、ESD活動支援センターや大学など協働・交流の輪を広げていくように計画していきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流は活発に実施できていないのが現状である。今後、ブラジルのパラナヴァイ市の学校との作品交流に参加することや市内・県内でのユネスコスクール交流会に、機会が合えば積極的に参加していくことから交流活動を広げていく意向である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

本校が、福祉学習や職場体験学習に継続して取り組んできた結果として福祉協議会、福祉施設、地域の事業所などに協力を得ることができた。

また、ESDの視点で、授業、学校行事など学校運営を改善する視点をもてた。同様に、カリキュラムの見直し・改善も進めている。カリキュラムでは、生活科や総合的な学習の時間を中心に見直しを行い、今後も、毎年、学年・担当で見直しを図り改善する予定である。それによって、新学習指導要領への移行もスムーズに進めていけると考えている。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

福祉学習や環境学習として、3年生では「ハートフルつつじが丘」として盲導犬や車いす体験を通して共生の大切さを学習する。5年生では、3年生の学習を生かして「めざせ心のバリアフリー」として障害者や高齢者についての理解を深め、交流活動を通して相手の立場や気持ちを考えて行動できるようにする。4年生で「幸公園生き物探検隊」として地域の自然を愛して、大切にしようとする心を育て、行動できるようにする。

また、安全・安心に関わる取り組みとして、防災学習で「つつじふれ愛の日」として、学校と地域が合同で防災について学び、実践力を育てていけるように今までの取り組みをより強化した活動にする。

「豊橋学校いのちの日」には、命の尊さを考える授業や講話を実施する。さらに、児童による委員会活動では、ボランティア活動を継続して推進していく予定である。